

2024年3月24日 No. 3712

先週の講壇から

“ イエスに聞け！ ”

ルカによる福音書 第9章 28節～36節

聖句「すると、『これはわたしの子、選ばれた者。これに聞け』と言う声が雲の中から聞こえた。」(9:35)

1. 《変身の願望》 テレビのアニメや特撮番組では、ヒーローやヒロインが変身をします。今も昔も子どもたちは「変身もの」が大スキです。けれども「変身願望」があるのは子どもだけではありません。若い男女の化粧や美容は言うに及ばず、体型管理（ダイエット）や健康維持は、高齢者にとっても重大な関心事です。末期癌の患者が筋骨隆々の姿に変身して太平洋を泳ぐ夢を見ました。私たちは皆「別の自分」に変わりたいという願望を抱いているのです。
2. 《危機の変身》 昔から「山上の変貌」として知られる場面です。イエスさまの御姿が真っ白に光り輝くのです。イエスさまは「変身ヒーロー」だったのです。しかも、そこに律法と預言者を代表するモーセとエリヤが栄光に包まれて現れます。新約聖書で「律法と預言者」と言えば、旧約聖書を意味します。ともかく、モーセとエリヤがイエスさまと十字架の最期について語り合っています。「変身もの」で、主人公が危機一髪の時、先代ヒーローたちが助けに来る構図とそっくりです。「山上の変貌」の記事が前後の「受難予告」の記事に挟まれていることを考えると、「ゲツセマネの祈り」と同じく、「私の思いではなく、神の御心が成りますように」という主の決断が表明された記事なのだと分かります。
3. 《本当の強さ》 テレビやゲームでは、ヒーローやヒロインが変身して強くなります。更に二段変身、三段変身、巨大ロボットに乗り込んだり、合体して強くなったりします。しかし、イエスさまは変身しても十字架に掛けられて死んでしまいます。主はこの変身によって、自分を投げ出すこと、自分を捨てることを決断されたのです。「自分が強くなる」とすることではありませんが、実は、これこそが究極の強さなのかも知れません。もはや「自分」に縛られていないのです。「私の思い」を捨てた時、私たちも本当の意味で強く美しく変わるのです。「栄光」を目撃したペトロは「記念」を残そうとしますが、直ちに却下されます。神の栄光を照らされた私たち自身が変わられて行くことを、神さまは求めて居られるのです。記念物の維持のために、空しい努力を重ねて行くことではありません。

朝日研一朗牧師